

あさカジャ Vol.7

アンニョンハセヨ！

韓国水原市（スウォン）滞在中の湯浅です。

先日、必要な業務があったので旭川に一時帰国していました。

約2週間でしたが、終業後や休日に友人や家族と日本のおいしい食事を食べたり、温泉に泊まったりして過ごしました。

改めて日本や旭川の良さを感じられた時間でした！

既に水原市に戻ってきていますが、残り約5か月間の派遣期間も交流職員として、旭川市と水原市の魅力をそれぞれに発信していきたいと思っています！



ラーメン、ジンギスカン、スープカレー、蕎麦、海鮮...たくさん食べました！
韓国に戻る日に、旭川から新千歳空港に向かう途中の風景がとてもきれいでした。



さて、現在韓国に住んでいる私が感じる、交通と買い物の違いについて紹介しようと思います。

韓国に旅行される方々にも、参考になれば嬉しいです！

交通について

交通について、まず最初の大きな違いは交通費です。韓国ではいずれの公共交通機関も日本より料金が安いのです。

例えば、水原市からソウルまでおよそ34km、電車（一般鉄道）で片道300円前後。一方、旭川市から同様の距離を電車で利用する場合、片道800円以上になるため、非常に安いですね！また、地下鉄やバスは、交通カードを利用していれば乗り換え時に割引が適用されます。そのため、日本よりも「気軽にどこへでも行ける」という感覚があります。日本に行ったことのある韓国人の方々からは、日本は好きだけど交通費が高い…という話をよく聞きます。

次に、韓国はICカードやデジタル技術の発達も印象的です。韓国では地域に関係なく、「T-money カード」などの交通カード一枚で、地下鉄・バス・タクシー・コンビニまで幅広く利用でき、公共交通



の仕組みがカードを中心にうまく統合されています。

それに対して、日本にも交通カードがあるものの、地域によって使える範囲や仕組みに差があり、日本より韓国の方が利便性の面で進んでいるように感じられます。また、「NAVERマップ」や

「Kakaoマップ」のような地図アプリを使うと、バスのリアルタイム位置や到着予想時刻まで正確に表示され、あと何分で来るのか一目で分かります。韓国国内の移動にはこれらのアプリが欠かせません。

NAVERmap

ってどういうもの？



- ・バスの番号
- ・到着までの所要時間（リアルタイム）
- ・残りのバス停



バスに乗車すると、自分の位置情報から降車まであといくつの停留所かがわかるようになっている



一方、日本の公共交通機関は、時間の正確性や丁寧な運転が特徴だと感じます。日本のバスには時刻表がありますが、韓国にはそのようなものはありません。だからこそ、リアルタイムで位置を追跡できる交通アプリが必要になります。日本でも、天候等によりバスや電車が遅延することはありませんが、電車では数分遅れただけでアナウンスが入り、遅延証明書が配られるほど、ダイヤの正確さが徹底されていますよね！日本の時刻の正確さは、安心感や信頼感を生み、日常の安定した移動を支えていると思います。

また、韓国のバスに乗って日本と大きな違いを感じるのは、乗車時の安心感です。韓国のバスは急発車や急停車、激しい車線変更、乗客が座る前に発車する等、日本とは雰囲気が違います。韓国人の国民性について、「빨리빨리（パリパリ）文化」と表現されることが多く、これは「早く早く」という意味で、日常生活も仕事もスピード感を大切にしていることを表しています。そのため、韓国のバスは「とにかく速く・目的地にすぐ着く」という効率を優先しているように感じます。

このように、韓国の公共交通は「低価格・デジタル化・スピード感」が特徴で、利便性の高さが際立っているのに対して、日本は「正確性・安全性・安定性」を重視し、安心して利用できる交通環



境が整っています。どちらにも長所と短所がありますが、それぞれの国の価値観や生活リズムが交通システムに反映されており、面白いですね！

買い物について

韓国の買い物に関して、日本にはない特徴がいくつかあります。まず象徴的なのが、韓国の「1+1（ワンプラスワン）」文化です。スーパーやコンビニで商品を1つ買うともう1つ付いてくるという大胆なプロモーションがとて多く、消費者はお得感から「とりあえず買っておこう」という気持ちになります。これはセールなどの時期だけではなく、常時行われています。日本にも割引やまとめ買いはありますが、このようなおまけがつくことは少なく、必要な分だけ買ってムダを抑えられる点で日本らしい合理性を感じます。



出典Google： <https://pake-tra.com/promotion/9600/>



次に、配達文化です。

韓国では、日本に比べて商品のネット購入やフードデリバリーなどを、多くの世帯が日常的に利用しています。

商品の配達もフードデリバリーも深夜まで対応しており、時間の縛りによるストレスがありません。

また、ネット通販の代表であるCoopang（クーパン）では、早いものだと早朝注文してその日のうちに受け取ることができるため、朝の出勤前に頼めば夕方帰宅したときには、玄関前に置いてあることもあります！ここでも、韓国の「빨리빨리（パリパリ）文化」による生活のスピード感が現れているように思います。

さらに返品交換もアプリからワンクリックで依頼でき、玄関前に置いておけば回収してくれるので、ユーザーの負担が非常に少なく便利です。韓国では、日本に比べて返品交換のハードルが非常に低く、「買ってみたけどなんとなく気に入らないので返品したい」のような理由でも対応してもらえるようです。

一方、日本の買い物の良さは、丁寧な対面サービスや商品の質の安定感にあると考えます。店員の対応が細やかで、困ったときにすぐ相談できる安心感があります。また、日本は韓国に比べると包装や配送も丁寧で品質管理がしっかりしています。私が実際に配達



を利用した際に、荷物の段ボールがひっくり返っていたり、中の商品の梱包が破損していることもありました…！

このように、日本と韓国の買い物の違いを比較すると、韓国はスピード感や手軽さ、お得感が魅力である一方、日本は安心感や丁寧さ、ムダの少なさが強みであると思います！

さて、今回は交通と買い物の違いについて紹介しました。両国どちらが良いか悪いか、優れているか否かではなく、それぞれの国民が求めるニーズに合わせて発展しているのではないかなと思います。

他にもいろんな違いがあるので、皆さんも韓国へ旅行される際には探してみると面白いかもしれませんね！

それではト マンナヨ ✨ ✨ （また会いましょう）

